

令和8年度 学校教育目標 **自分らしく主体的に学び続ける児童の育成**

児童 像	かしこく[知]	やさしく[徳]	たくましく[体]
	・課題に対して問いをもつ ・本時のめあてに沿って考える ・考えに根拠をもつ ・新しく学んだことを伝える ・次のめあてをもつ	・進んであいさつをする ・互いのよさを認め合う ・互いの苦手なことを理解し合う ・いろいろなことに感謝する ・We love 西川副町	・時間を意識した生活リズムを身に付ける ・しなやかな心と体になる ・考えたことを実行する ・小さいことを継続する
学 校 像	主体的な学びを実現	自他を大切にすることを育む	学びを支える体を育む
	・基礎基本、読書習慣の定着（低） ・問いに基づく授業づくり（中・高） ・主体的な家庭学習への誘い ・主体的な学習に生かす ICT 活用 ・落ち着いた学習環境の整備	・承認による自己肯定感向上 ・校内研による道徳性の伸長 ・人権・同和教育の充実 ・感性を磨き、多様性の理解向上 ・JRC、ISO 実践の継続	・外遊び、徒歩登校の推奨 ・安心安全の取組継続 ・キャリア教育の推進 ・向上心や挑戦心の醸成 ・話し合いによる合意形成育成
	まなび部	こころ部 ・ からだ部 ・ くらし部	
職 員 像	「誰もが心地の良い職場」をつくろうとする意識をもって職務遂行。「三方よし…相手よし、みんなよし、自分よし」 ・業務の効率化を意識し、Let's brance!（分担とカバー、ライフとワーク） ・「教えありて類なし」の意識をもって児童にかかわる ・学校目標を念頭に置いた自己目標を設定し、「我日に我が身を三省す」の意識で職務遂行する ・特別支援教育の視点を常にもち、伴走的存在を意識して、児童に寄り添った対応をする		
児童の学びを支えるために、保護者・地域・関係専門機関との連携 ・生活習慣・学習習慣の定着 ・互恵のある、幼保こ小連携、小・小連携、小・中連携（川中校区）の継続 ・教育課程と関連した無理のない体験学習と地域行事への参加 ・関係専門機関への積極的な相談、助言を踏まえたタイムリーな対応			

1年生4月 -----> 6年生3月

自分から学ぶ(課題を知り解決を図る・みんなのために考えて動く)

与えられたことを頑張る(学びの基礎…聴く・書く・読む・話す・動く)

